

館 報

おみ

7月号
No.700

2025. 7.25 (令和7年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲第700号を祝う ～麻績村公民館 音楽鑑賞会～ (6月29日撮影) 関連記事は2～3面

「館報おみ」七〇〇号発行

今月号で館報おみは、七〇〇号を迎えることができました。

これまでの編集委員や執筆などにご協力いただいた皆さま方、館報おみを読んでいたってくださる皆さま方に、あらためて感謝を申し上げます。

公民館報七百号 発行に寄せて

公民館長 内山 修治



いつも公民館並びに公民館報をご支援いただき誠にありがとうございます。

この度、公民館報は第七〇〇号を発行という大きな節目を迎えることができました。長い年月の中で村民の皆さまに支えられこまめが続けてこられたこと、これもひとえに日頃より公民館活動に関心を寄せてくださりご協力をいただいていた

る皆さまのおかげと御礼申し上げます。

昭和三十二年の発行以来、こつこつと歩みを重ね、気が付けば七〇〇号、長い年月の中で館報は地域や人のつながりを映して皆さまの思いや活動の記録を残してきました。

毎号の発行に当たっては日々の活動を支えてくださる職員や記事を書いてくださる方々、情報や稿をお寄せくださった皆さま、編集作業にかかわる編集委員の方々、丁寧な仕事で形にしてくださった印刷会社の方々などたくさんの方々に支えてくださっている皆さまのおかげで毎回無事に村民の皆さまのお手元にお届けできています。この場を

借りて心から御礼申し上げます。

七〇〇号という節目を迎え、館報の大切さを感じております。これからも読んで楽しむ、役に立つ、そしてつながりを感じられる紙面づくりを目指してまいります。どうぞこれからも引き続き温かく見守っていただけたら嬉しいです。



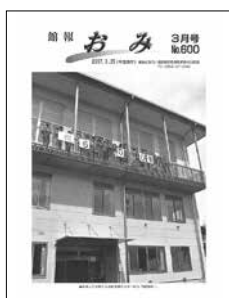
▲第200号表紙
(昭和58年11月)



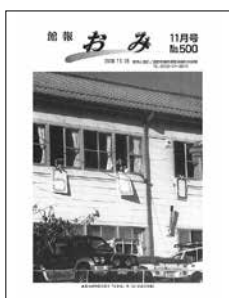
▲第100号表紙
(昭和50年7月)



▲第1号表紙
(昭和32年5月)



▲第600号表紙
(平成29年3月)



▲第500号表紙
(平成20年11月)



▲第400号表紙
(平成12年7月)



▲第300号表紙
(平成4年3月)



昭和三十二年（一九五六年）五月の第一号から始まり、この七月号で七〇〇号を迎えることができました。令和「七」

年「七」月に「七」〇〇号という、かなり強引な「スリーセブン」ではありますが、この公民館報を手にとって読んでくださる皆さまに何か良いことがあればと…。

第六〇〇号は、平成二十九（二〇一七）年三月号でした。この第七百までの間に、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナウイルス」）が流行し、公民館行事を含めてあらゆる行事に制限が掛かり、活動中止や活動できてもマスクをしなければならぬ時期もありました。そして新型コロナウイルスが五類となり、公民館活動が復活してきていますが、人が代わり、いくつかの既存クラブが休止し、その一方で新クラブが設立されるなどの変化も見られます。

第八〇〇号の時には、公民館活動が、これまで以上に活発であって欲しいものです。

麻績村公民館音楽鑑賞会

昨年度開催して好評だった音楽鑑賞会を、六月二十九日に交流センターで開催しました。

今年度は二部構成で、第一部は丸山貴菜さん（フルート）と井垣里沙さん（ピアノ）による「フルート&ピアノコンサート」、第二部は宮坂裕子さんと大井俊恵さん（バイオリンデュオ）と柳澤和恵さん（ピアノ）による「花音trio（かのんとりお）コンサート」という二団体の演奏を楽しみました。

第一部はフルートとピアノより「愛の挨拶」から



▲フルート&ピアノコンサート



▲「花音 trio」の演奏

始まり、「星に願いを」や「チャルダッシュ」などのスタンダード曲を演奏されました。

第二部では、「となりのトトロ」や「上を向いて歩こう」といったポピュラーな曲を交えた演奏に加え、イントロクイズがあり、観客が参加して楽しみました。約一〇〇人の観客が集まり、第一部、第二部とも拍手によるアンコールがあり、大変盛り上りのある鑑賞会となりました。

大町市で視察研修

第三回麻績学級

第三回麻績学級は、「自然を楽しむ」と題して「サ

ントリー天然水」北アルプス信濃の森工場と大町エネルギー博物館の視察研修を七月十九日に行い、十八人の参加がありました。交流センターからバスにより移動し、まず北アルプス信濃の森工場で生産されるペットボトルの水について、北アルプスの大自然が長い年月をかけて地下水となる流れと、その水をペットボトルに入れ、流通、再利用の過程について説明を受けました。



▲工場内で記念撮影

続いて、大町エネルギー博物館では、太陽光発電やリニアモーターカーなどの仕組みといった展示物を見学した後、プラネタリウムを生解説で鑑賞しました。参加された皆さんは、職員の方々による設備などの説明を熱心に聞いていました。



▲薪バスの「もくちゃん」

トランペットとピアノの演奏を楽しむ

麻績小学校、筑北中学校と麻績保育園の三か所で、六月三十日にトランペットとピアノのコンサートが開催されました。



▲三種類の楽器を使い分けて曲を奏でる

麻績小学校では、トランペット奏者の佐藤友紀さんが、トランペット以外にも、フリーユーゲルホルンとコルネットで、天空の城ラピュタの「ハトと少年」やサン・サーンズ作曲の「白鳥」といった曲に合わせてすばらしい演奏をされていました。また、ピアノ奏者の大室晃子さんもトランペットに合わせて、美しい演奏をされていました。スタジオブリなどの知っている曲であっても、日本を代表する二人の演奏に児童たちは感動していました。

聖高原スキークラブ 結成六十周年を迎えて

聖高原スキークラブが結成六十周年を迎え、七月六日にシェーニングガルテンおみで関係者を集め、記念祝賀会を行いました。

昭和四十年一月に聖高原スキー場と聖湖スケート場がオープンし、同年十一月三日に、第一回総会が開催されてクラブが結成され、平成十八年には四十周年記念祝賀会が行われ、それ以来の祝賀会となりました。始めにクラブ会長や村長のあいさつがあり、祝賀会



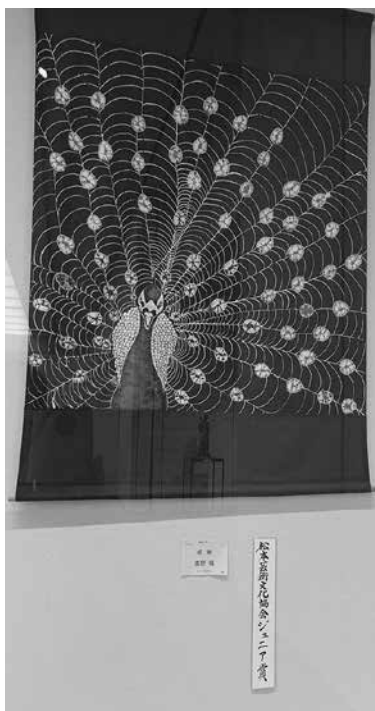
▲クラブの発展を願い記念の一枚

では、これまでの活動やクラブから輩出された選手の活躍などを振り返りながら、語り合っていました。

高野福さん 中信美術展「松本芸文 ジュニア賞」を受賞

中信美術会主催の第七十七回中信地区美術展の第四部「工芸」の部門で高野福さん（中町・高校三年生）が、「松本芸文ジュニア賞」を受賞されました。

藍染でクジヤクを表現した「威嚇（いかく）」という作品で、『タイトルの「威嚇」の鋭さを構図の工夫でうまく表現している。藍染の手法、絞り・方染め・筒描き・脱色の技法も確かで、その技法を上手く生かした力作である』と審



▲松本市美術館に展示された高野さんの作品

村長杯 マレットゴルフ大会

村長杯マレットゴルフ大会を七月十二日、マレットゴルフクラブの協力で麻績マレットゴルフ場で開催し、三十三人の参加者が競技を楽しんでいました。

大会の結果は次のとおりです。

男性の部

優勝 有賀 増人（小東）

準優勝 宮下 賢一（野口）

第三位 小山 紀慶（菅沢）

女性の部

優勝 小山智恵子（菅沢）

準優勝 長岡 恭子（小東）

第三位 塚原 黎子（野田沢）

査講評を受け、六月二十一日から二十九日の間、松本市美術館で作品が展示されました。



▲競技前に記念の一枚

みんなの 広場

小学校の駐車場に行くと、プールの子供たちの声が聞こえて、「若さつていいなあ」と元気をもらえるこの頃ですが、ニュースでは毎日熊に襲われたニュースが流れている。中でも洗濯ものを干して熊に襲われ

た事件は、他人事ではない気がする。

家の周りは山々に囲まれているし、最近ではタヌキ、キツネ、ハクビシン、鹿などの群れを度々見かけるようになった。

今年は、この時季に多くの柿の実が落ちていると近所の方が話していたのを思い出し、足元を見ながら歩くと、道に銀杏の実も落ちていた。あまり気にかけて見ていた事がなく例年通りなのかもしれないが結構落ちてるように思えた。

七月にはお米がお店にないと連日放送され、その中で古・古・古・古米を販売すると聞いた。備蓄米を何年分も備蓄している事に驚き、災害は無い方が良いに決まっているが、この頃はいつどうなるかわからない時代。災害時などに配られるお米なのではないか。麻績も休田が目立つようになったが七月に田植えをやった田んぼを見つけて、少しでも良い方に向くことを願い家路に着いた。（ペンネーム…はっば）

元氣通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

麻績小学校五年生十三名は、「学ぶ」「まとまる」「十三人の笑顔」を目標に、七月実施の「海の学習」に臨み、大きな成果を収めました。工場見学では、説明に対する真剣な態度が評価され、入浴時のマナーや宿泊施設での整理整頓など、事前学習を生かした行動が随所に見られました。集合・時刻の厳守や、就寝準備・起床後のふとん片付けなど、時間を意識した自主的な行動も徹底されていました。夕食後にはレモン真顔食べ選手権や即興芸などが始まり、全員が笑顔で盛り上がる姿が印象的でした。自由時間には、カードゲームを通じて誰も仲間外れにせず、穏やかで協力的な雰囲気が出来ました。本行事を通じて児童の成長と団結力が強まり、教職員から高い信頼を得る結果となりました。



▲記念に一枚



▲二頭そろったイルカのジャンプ

筑北中学校

ブックトーク

一年 伊藤 愛莉

六月九日に、越高一夫さんによるブックトークがありました。「時」をテーマにしたブックトークで、普段本に興味が無い私も、夢中になって聞いてしまいました。テーマに沿って、筑北中学校にある本から、ない本まで、たくさん紹介してくれました。「モモ」という本は、見たことはありましたが、厚く、文章量も多いので読んでいませんでした。でも越高さんの話を聞いて「読んでみようかな」と思いました。後半には、百冊もある本の中から一冊を選びました。表紙やあらすじから、全て読みたくなりました。その中から、特に読みたい本を見つけてことができました。今回のブックトークを終えて、これからはいろいろなジャンルの本を読んでみようと思いました。たくさん本に親しむことができた良い時間になりました。



▲本に興味がわいてきた

最後の中信大会

三年 三浦 羽未

六月十四日に行われた女子バレーボールの最後の中信大会に出場しました。惜しくも負けてしまいました。が、私たちは最後までボールを追いかけることができました。三年間続けてきましたが、一、二年生の時は自分のペースでのんびりバレーボールをしていました。



▲最後まで全員の力をあわせて

しかし、三年生になって心を入れ替え、「うまくならない」という気持ちが大きくなり、先生と仲間と一緒に最後まで走り抜くことができました。また、私たちは他校の生徒と合同チームを組んでバレーをしていました。その仲間たちがいなかったら私たちは試合に出られなかったのも、すごく感謝しています。私達のバレーは中信大会が終わってしまいました。が、技術とともに自分自身の成長もとても大きかったです。ここまで私の成長を支えてくれた仲間、先生、コーチ、そして家族に感謝です。

麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その八)

祭神のアイドル

祭神名にみる建御名方神は、「諏訪神社鑑」に「：古事記などには、建御名方とあるが、「タテ」ではなく「タケ」であって、建は「健」の略字として用いられたものである…」と記されている。

大社発行の「諏訪大社由緒略誌」には「建」「タケ」と記されている。

神名の「建【タケ】」は武勇をあらわし、「御」は敬語で「名方」は水辺や湖沼を意味すると謂い、水や風を支配する力強い神であるという。

市野川神社は、往古「ばんばの池」を眺望できる。猿ヶ番場峠峯山に、水の守り神諏訪社として祀られていた。

北信と中信を往来する要衝にあり、隠砦をかねた軍神であったとも推考される。長野県内神社庁監修の「信州の神事」長野県神社

一覧によれば、主祭神名「健御名方命」が最も多く、類似の神名は、二十五余に及ぶ。

神功は、国土開発・農業の守護神として著名であり、さらに海運・開運招福・交通安全等々万能の神として崇拜されている。

古事記の「負け神」であるが、勇猛な戦いが認められ、朝廷・武門武将からは、勝負の神「軍神」として崇められるなど、オールマイティ・全知全能の神であり、日本全国一万余社の分社の祭神のアイドルである。

諏訪湖の御神渡り

○諏訪の七不思議

諏訪地方には、大社の神事を中心とした七不思議が伝えられている。

(一) 永湖の神幸【おみわたり】、(二) 元朝蛙狩、

(三) 五穀の筒粥、(四) 高野の耳裂鹿、(五) 葛井の清池、(六) 宝殿の天滴

(七) 御作田の早苗である。上社、下社それぞれに七不思議がある。重複している項目が多い。

○永湖の御神渡り

湖面が結氷し、亀裂がこれに沿って高さ1m余に盛り上がる現象である。

御神渡りには、三つあるという。

「一の御神渡り」

上社から下社に向かって最初にできた氷脈で、上社の祭神・建御名方神が、姫の下社の祭神・八坂刀売神のもとに通う「愛の路」だという。

「二の御神渡り」

二番目にできた氷脈をいう。

「佐久の御神渡り」

一と二と交差して走る氷脈をいう。

佐久の新海三社神の祭神・建御名方神の御子神・興波岐命【おきはぎのみこと】が親神と行き会う路といわれている。

○建御名方家湖上サミット

諏訪湖の辺と佐久には、建家の祭神を祀る神社が六社ある。

本家は、上社の建御名方神、下社に姫神の八坂刀売神、佐久の新海三社神社に御子神興波岐神、茅野市の御座石神社に母神の高志沼

名河姫神、下社秋宮に兄神・八重事代主神・諏訪市の先宮神社に姉神の高光【たかてる】姫神、岡谷の小坂鎮守神社に妹神の下照姫【しもてるひめ】神だ。

氷湖で建家ファミリ「湖上サミット」が開かれたという説もある。

明けの海と農業

諏訪湖で御神渡りができない年を「明けの海」という。

御神渡りの観察が続いている諏訪市の八剣【やつるぎ】神社の御神渡り日記帳「当社神幸記」によれば、五一八年前の室町時代、永正四（一五〇七）年から八季連続の「明けの海」の記録があるという。

貴重な記録には、その年の天候と米の作柄をはじめ、飢餓や噴火などの異変、生活情報などが記されているデータだという。

令和の「明けの海」は、冬年で七季連続だという。まだ続くことが予想され、記録更新の可能性がある。

地球の温暖化の影響であり、象徴だといわれている。

温暖化は、「明けの海」だけではなく、農業にも関わり、警鐘を鳴らしている。米や野菜の高騰をはじめ、果物の品質低下や収穫量の減少などは、負の影響が多大である。

温暖化に対応した農業に取り組むことが不可欠である。

「明けの海」こぼればなし

○「明けの海」イコール「温暖化」である。

○鹿が増えたわけ

温暖化で越冬しやすくなり、寒さによる死亡率が低くなったこと、繁殖率が高まったことが要因だという。

奈良公園では、放し飼いの鹿で有名であり、「神の使い」といわれ、神社で飼われていることもあるという。

しかし、当地では、農地が「鹿公園」となり、農作物の被害が甚大である。

鹿の頭数が人口を上回る時代が来るかもしれない！

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

本の森だより

おみ 図書館

セカンドブック贈呈の会

四歳を迎える子に、村から絵本をプレゼントする「セカンドブック」。今年度は十三名のお子さんが対象となり、図書館プレイルームで開催されました。

今回は筑北村坂井地区で活動している「お話スクランボ」八名の皆さんに講師をお願いし、とても賑やかな会になりました。



▲指で3をつかって「猫のひげ」

手遊びあり、大型紙芝居あり、大型絵本ありの盛りだくさんの内容で、子どもたちも保護者の皆さんも大いに楽しみました。



▲ユカイナは手のひらに収まる小さな笛

お話のはじまりには、笛の演奏がありました。伊那市の工房で作られた「ユカイナ（愉歌伊那）」という笛で、代表の小池浩京さんが吹くユカイナの音色はとてもあたたかく、会場の皆が一気に引き込まれ、心なむ時間でした。

大型紙芝居「なんにもせんにん」では、小判がザクザク出てくる場面をタンバリンの音で表現した演出が効果的でした。大型絵本「はらぺこあおむし」では、あおむしが食べたものを、子どもたちがすばやく答え、反応のよさに感心しました。

その後、塚原村長より一人一人に絵本が手渡されると、さっそくうれしそうに開いていました。



▲いっぱい読んでね

「絵本を通じて家庭で楽しいひとときを分かち合い、親子の絆を深め、読書への関心を持つて欲しい」との願いがこもった絵本。

図書館の絵本も、ぜひ親子の時間に活用していただけたらと思います。

最後に、講師の方が用意してくださった、キラキラの風車とおおむしの折り紙のプレゼントをもらい、飛び切りの笑顔で子どもたちは帰っていききました。

私の本棚（夏）

春にスタートした「私の本棚」コーナー、第二弾は丸山地区の南海剛さんにお

願いできました。

「夏をのりきる食」をテーマに、食卓が豊かになる九冊を紹介いただいています。

尋常ではない暑さが続いています。おいしい食事で病気に負けない体をつくりましょう。ご利用、お待ちしております。



▲おいしい食事で体も心も元気に

麻績小学校図書館便り

図書館利用促進のため、児童会で『図書館たんでい』を行いました。

挑戦者は、くじ引きで問題を選び、本の題名が分かると、図書館中、探偵さながらに本を探しました。低学年の子にとって指定された本を探すのは難しか

ったとは思いますが、そこは高学年や委員がうまくサポートしてくれました。そして探し出した本を読み、内容についてのクイズに正解すると、図書委員手作りの景品（しおりと折り紙）をもらいました。取り組み期間中、三十七人の名探偵が誕生しました。



▲サイコロを振って景品ゲット！

6月の図書館

来館者数 368人
貸出冊数 797冊
ご来館ありがとうございます。



「ふつうのくらしのしあわせをみつこう」開催

受験資格
平成十四年四月二日から平成二十年四月一日までに生まれ、高等学校卒業程度の学力を有する人（日本国籍を有する人）

第一次試験

期日 九月二十一日（日）

場所

教養試験

松本市役所波田支所

体力試験

松本市波田体育館

申込期間

令和七年八月二十一日

（木）から八月二十九日

（金）

試験案内・申込用紙

松本広域連合か松本広域

消防局ホームページから印刷して使用してください。

郵送希望の方は、一八〇

円切手を貼付し、送付先の

住所、氏名を記載した角型

二号の返信用封筒を同封の

うえ、赤字で「試験案内希

望」と明記してお早めに次

の宛先へ請求してください。

お問い合わせ先

申込用紙の送付先

〒三九〇・一四〇一

松本市波田四四一七番地一

松本市役所波田支所四階
松本広域連合事務局総務課
（☎八七・五四六〇）

麻績村商工会

初心者スマホ無料講習会

麻績村商工会では、スマ

ートフォンの使い方を学ぶ

無料講習会を開催します。

商工会会員以外の方でも

受講できますので、お問い

合わせ先へご連絡ください。

日時と内容

第一回 九月四日（木）

「カメラの活用と写真デー

タの整理方法」

第二回 九月十一日（木）

「地図アプリの使い方（ル

ート検索、危険の把握）」

第三回 九月十八日（木）

「インターネットの安心安

全な利用（メルカリ）」

第四回 九月二十五日（木）

「LINEの利用とメッセ

ージアプリ」

第五回 十月二日（木）

「生成AIの利用方法とよ

ろず相談」

時間は、各回ともに午後一

時三十分から一時間程度

場所 麻績村商工会館

お問い合わせ先

麻績村商工会

（☎六七・二一四六）
**麻績消防署からの
お知らせ**

九月九日は「救急の日」救

急車は本場に必要ときに

近年、救急車の出動件数

は増加する傾向で、現場に

到着するまでの時間も延び

ています。救急車は、今す

ぐに医療が必要な人のため

の限りある資源です。症状

の軽い方はご自分で病院に

行き、一方、緊急性が高い

と判断したときは、迷わず

救急車を要請してください。

こんなときは迷わず

「119番」

○意識がない、呼びかけに

反応しない

○呼吸が止まっている、ま

たは苦しそう

○激しい胸の痛みや突然の

息苦しき

○大量の出血が止まらない

○けいれんが続いている

○事故や転倒で動けない、

骨が折れている疑い

迷ったときは「#7119」

または「#8000」へ

大人の方で、救急車を呼

ぶべきか分からない場合は

「#7119」

こども（概ね十五歳未
満）は「#8000」で看護
師等の専門員に相談がで
きます。

相談日時

平日は、午後七時から翌

午前八時まで。土曜日・日

曜日・祝日・年末年始（十

二月二十九日から一月三日

まで）は、午前八時から翌

午前八時まで

時間外は、かかりつけの

医療機関やお近くの医療機

関にご相談ください。

救急車は、みんなの大切

な「命を守る車」です。一

人ひとりが適正利用を心が

け、安心して暮らせる地域

を目指しましょう。



ご冥福を祈る

市川	雪子	100歳	市野川
飯森	原子	93歳	横屋
林	勝子	88歳	本町
宮川	とら美	98歳	宮本
葦澤	みや子	88歳	叶里高畑
白井	浩純	89歳	野口
塚原	彌生	97歳	小東